

□ 要請番号 (JL05422B20)

募集終了



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
インド	G157 日本語教育		個別	交替 3代目	2年	・ 2023/3 ・ 2023/4 ・ 2024/1

【配属機関概要】

1) 受入省庁名 (日本語)

教育省

2) 配属機関名 (日本語)

アーメダバードマネジメント協会
NGO

3) 任地 (グジャラート州アーメダバード市) JICA事務所の所在地 (デリー市)

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間 (飛行機+車で 約 3.0 時間)

4) 配属機関の規模・事業内容

1956年設立の成人教育、職業訓練、リサーチ等を実施しているNGO。複数の企業から支援を受けることで一般市民に幅広いコースを低価格で提供している。3万平方メートルある敷地内には、マルチメディア教室、世界各国とテレビ会議の行える大会議室、図書室、食堂など近代的な設備が導入されている。外国からの支援としては、2015年に日系企業の資金援助により、図書館の一角に日本についての専門書が並ぶ「日本スタディセンター」が開設された。

【要請概要】

1) 要請理由・背景

グジャラート州は、デリー・ムンバイ間産業大動脈(DMIC)の中間に位置することから近年一躍注目を浴びており、日系企業からの投資が相次いでいる。2015年度までに100社を超える日系企業が進出しており、日系企業への就職希望者や、自己研鑽を目指す社会人等、日本語学習の需要は依然として高い。2014年からJICA海外協力隊による日本語定期コースが開始された。日本語学習者のニーズに応じた日本語教育、学習意欲を高め維持する取り組み、インド人日本語教師への助言の為、協力隊が要請された。前任者は2019年1月から2021年1月まで現地で活動した。

2) 予定されている活動内容 (以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます)

- インド人教師とともに週15コマ程度、日本語クラス(初級・中級レベル)を担当する。
- インド人教師への助言を行う。
- 学習者のニーズに対応し、学習意欲を高め維持させる為の、より良いコース運営に向けたアドバイスを行う。
- 隊員の無理の無い範囲で、日本文化紹介を行う。
※「日本語でのコミュニケーション力を高められる授業」が期待されている。
※インド人教師の留学や異動の可能性あり。

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

ホワイトボード・プロジェクター・スピーカー・図書室・教材は宿題等で『Genki』を利用。(初心者にはJV自作テキスト使用)

4) 配属先同僚及び活動対象者

配属先同僚:
20代女性1名 日本語能力試験N2

活動対象者:
15～65歳 初級コース 26名
中級コース 7名

5) 活動使用言語

英語

6) 生活使用言語

ヒンディー語

7) 選考指定言語

英語(レベル:B)

【資格条件等】

[免許]：（日本語教育に関する資格）

[学歴]：（大卒） 備考：配属先の要請

[性別]：（ ） 備考：

[経験]：（実務経験）3年以上 備考：配属先の要請

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候]：（ステップ気候） 気温：（12～42℃位）

[電気]：（安定）

[通信]：（インターネット可 電話可）

[水道]：（安定）

【特記事項】

グジャラード州は禁酒州であり、州民の多くが菜食主義者であることから、酒・肉類の入手は不便。生活使用言語は英語のほかに、ヒンディー語、グジャラード語。